

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2019.01.No257

1月号

目次

会長新年挨拶「新しい年を迎えて」……1
第61回建築士会全国大会報告……2
ブロック会報告……4
青年・女性の怒……5 [青年委員会]
Coffee Break……6
道士会の動き……7
information……8

URL <http://www.h-ab.com/>



新しい年を迎えて

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族の方々と一緒に、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年、平成最後の夏は、6月の大阪北部地震、西日本での豪雨、そして9月4日上陸した台風21号と大きな災害が続き、一息つく間もない9月6日、今度は本会の足もと北海道で震度7の地震が発生いたしました。この胆振東部地震により、全道全域にわたったブラックアウトをはじめ、震源地に近い厚真町で大規模な土砂崩れ、札幌市清田区や北広島市の宅盤の液状化など、甚大な被害をうけたところです。皆様の身近でも被災された方がいらっしゃると思います。あらためまして、尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

震災から一月後となる全道大会士別大会につきましても、被害状況を考えますと、その開催に躊躇するところもありましたが、まずは私たち建築士が元気で、そして、その活力が少しでも被災地に届くように、「こんな時に」ではなく「こんな時だからこそ」との思いから開催いたしました。大会では、多くの皆様の参加をいただき、被災地に大きなエールを送ることができたと思っております。また、士別支部の皆様には限られた会員数のなか、周到な準備のもと大会を成功に導いていただき心から感謝いたします。その大会運営は、今後、全道大会を主管する支部にとって、まさに素晴らしいモデルになるものと考えております。

ご案内の通り、今年、全道大会につきましても、全国大会北海道大会開催のためお休みであります。来年2020年は、網走支部の主管で開催されます。網走支部では、大会テーマを「Lat. 44°N とともに語ろう北海道（フルサト）の未来」と定め、士別大会においてPRを行うなど、着々と準備を進めており

ます。どうぞご期待いただきたいと思います。

さて、今年9月21日、いよいよ、平成19年の帯広から数えて12年ぶりとなる全国大会北海道大会が、函館において開催されます。開拓時から培われたフロンティアスピリットのもと、新しい文化や技術を受け入れてきた函館の地で、「町の再生」から「創生」へと続く、輝く未来への物語を考える大会にしたいと思っております。本会会員の皆様におかれましては、全国各地から参加される多くの会員の方々との交流は勿論のこと、全国大会北海道大会を大いに盛り上げてくださいますよう、大挙しての大会参加をお願いいたします。

今年、本会では昨年の胆振東部地震で得た教訓をもとに、震災直後の自治体や支部との連絡方法、本部や支部役員の連絡網、会員の安否確認方法など、未整備となっているものを早急に構築することとし、昨年10月に実施した厚真町、安平町、むかわ町での住宅相談をもとに相談員の確保や、罹災証明への対応が速やかにできる体制を併せて検討していく所存であります。また、すでに札幌支部、恵庭支部、北空知支部では、地元自治体と応急危険度判定に係わる協定を締結しておりますが、今回の震災を契機にいくつかの支部でこの協定について進展がみられております。今年も、多くの支部が、地域の震災時の対応について、行政と協議に入っただけであればと思っております。

本年は、全国大会北海道大会を成功裡に終えることを第一として、皆様と一緒に、会員増強、組織力の強化を見据え、各事業を進めてまいります。どうか、皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



第61回建築士会全国大会「さいたま大会」報告 全国大会北海道大会へ向けて

第62回全国大会北海道大会実行委員会式典・大交流会・記念講演部会長 工藤 誠（函館支部）

去る10月26日、大宮ソニックシティにて開催された建築士会全国大会「さいたま大会」へ参加してきました。

個人的に全国大会は大分・京都・埼玉と3回目の参加となり、大分・京都は連合会青年委員として運営側での参加でしたが、今回は次回開催地の実行委員（大会実行委員会式典・大交流会・記念講演部会長）という立場で視察を兼ねた参加となりました。

今年の全国大会「北海道大会」へ向けては、北海道建築士会・同函館支部ともにすでに動き出しており、全道の担当者が集まる全国大会実行委員会は7回、支部の委員が集まる全国大会実行委員会拡大連絡会議は3回開き、会場である函館アリーナへの視察や各関係機関との打ち合わせも幾度となく行い、大会の準備を着々と進めてきております。

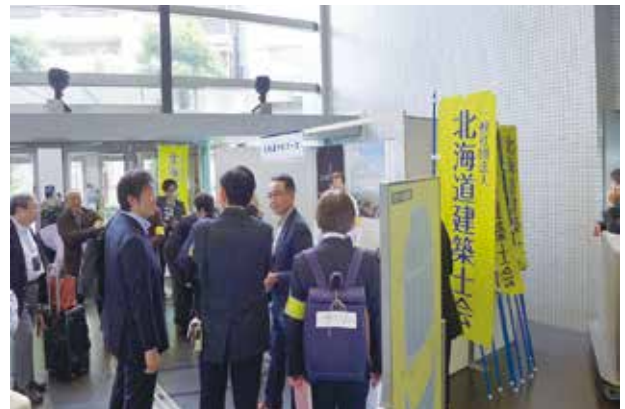
会場のさいたまソニックシティはJR駅の徒歩圏内。参加者のほとんどがJRでの移動であるため、参加者の動線がはっきりしており、駅の中には建築士会会員が訪れることを見越した物産展が開催され、周りには建築士会活動のパネル展示もありました。物産展やパネル展示は駅を往来する一般の方々の目にも触れ、建築士会を対外的にアピールするいい場所となっていました。

来年の函館は埼玉と異なり、空路（函館空港）、JR在来線（函館駅・五稜郭駅）、JR新幹線駅（新函館北斗駅）、フェリー等での来函が予想されます。参加者をいかにスムーズに函館アリーナまで導くか。各所での案内や参加者への事前の情報提供がカギになる、そう思いました。



来場者を迎える埼玉県建築士会スタッフ

全国大会実行委員会は「総務・財務部会」「式典・大交流会・記念講演部会」「広報・記念誌部会」「出展・展示部会」「会場行事部会」「エクスカージョン部会」と分かれ、道土会と函館支部の担当者がそれぞれタッグを組む形で進めてきており、今回のさいたま大会は各部会の担当者がそれぞれ調査すべき課題を持った上での参加となりました。



北海道建築士会PRブース

本大会では朝から次回開催地PRのためのブース（北海道ブース）を設置し、ブースではポスターと同じデザインのA4チラシとコースター、函館市の観光パンフレット等を配布しました。

全国的に北海道人気は高く、ブースは大盛況で、「来年、必ず行きます」という声のいたるところから聞こえました。



駅構内に設置された物産展ブース



屋台村の様子

昼食時は、昼食会場とは別に屋台村が外に設営され、そこでは、ご当地グルメと思しき牛タン串や塩焼きそばなどの出店があり、それを求める参加者で混雑していました。北海道へ来られる方には食にも期待されていると思うので、函館でも同様に屋台村のような企画が出来れば、と考えております。

建物内の昼食会場では生ビールの他に、前回大会の京都と今回大会の埼玉、そして、次回大会の北海道を繋ぐということで、サントリー山崎（京都）、イチローズモルト（埼玉）、ニッカ竹鶴（北海道）の飲み比べセットが販売されていました。このような企画はとても面白いと感じました。



ウイスキー飲み比べセット

式典が始まる前に次期開催地アピールのリハーサルを行いました。照明がフェードアウトし、北海道の自然や食や文化をアピールする動画が流れ、その途中で100人近い北海道建築士会メンバーが壇上に上がり、照明がフェードイン。明るくなったと同時に、北海道建築士会ののぼりを高く掲げ、そして、大会実行委員長の挨拶が始まる。

大会前の打ち合わせがうまく出来ていなかったようで当日、ステージに上るタイミングや立ち位置、のぼりを上げるタイミングなどを何度も繰り返し、そのおかげで、本番ではミスなく進み、しっかりと次期開催をアピールすることができました。

式典の挨拶や表彰などの進行は来年もほとんど変わることはありませんが、次期開催地アピールだけは次期開催地の意向により内容が変わりますのでそこをしっかりと納めることが式典の成功につながると感じました。



式典での開催地アピール

式典後の大交流会では、ジャズバンドの生演奏の中、他県の方々と歓談し、PRカードを配ったり、北海道大会をしっかりとアピールしつつ、懇親会の進行や会場のレイアウト、料理の内容などもチェックし、会の終盤に次期開催地アピールを行いました。

PR動画、大会実行委員挨拶の後に、実行委員全員でイカ踊りを披露し、皆、酔いも回っているせいか、他県の方々も壇上に上がり、約5分、100人ほどの集団でイカ踊りをしました。

一緒に踊っている他県の参加者たち、それを見ている参加者たちの笑顔を見て、北海道大会のPRは成功したと実感いたしました。



大懇親会でイカ踊りを披露

最後に、さいたま大会を振り返って。大会の成功の陰には多くの会員スタッフの力があるということ。駅には参加者を迎えるプラカードを持つ会員スタッフが、駅から会場への道には案内係の会員スタッフが、受付には大会案内等が入った袋を手渡す会員スタッフが、会場では机や椅子を設営する会員スタッフが、会場の通路には参加者の誘導をする会員スタッフが、それぞれの会員がそれぞれの役割を果たすことで大会が成功するということを改めて実感いたしました。

今年は北海道大会、北海道の端である函館の地で行われるものの、函館大会にあらず、北海道大会であるということ。北海道建築士会会員全員がゲストではなくホストであるということ。大会の成功には北海道建築士会会員全員のサポートが必要であり、会員全員の「おもてなしの心」が必要です。

来年は全道大会がなく全国大会一本となり、それぞれがそれぞれの地で全道大会を成功させてきた実績を胸にまずは参加を、そして、それぞれの「おもてなしの心」で全国大会を成功に導きましょう。そして、はるばる来ていただいた他県の参加者に「北海道まで来てよかった」と思っていただけの大会にしましょう。

そんな大会にすべく実行委員会も企画に打ち合わせに邁進して行きます。

大会の成功のためには皆さんのお力が必要です。全国大会成功のために皆様ご協力よろしくお願いたします。

会議と懇親会はセットが大事

道央ブロック会

統括理事 長谷川敏文（札幌支部）



平成30年11月12日、平成30年第2回目の道央ブロック会を事務局共用会議室において開催しました。10支部からの代表者に高野会長、石川事務局長を加えた13名の参加でした。

9月6日に発生した胆振東部地震のケア事業として、建築関連8団体の協同で開催した住宅復旧・再建支援相談会の成果が報告されました。3町5地域の被災された方々には、建築士との直接面談により少なからずの安心感を届けられたものと思います。

道央ブロックでは、昨年以來、事業の協同参画・共同開催を目指しています。支部の合併や事業を通じての会員同士の交流など、具体的な構想はあるものの、一歩踏み出せずにいるのが現状です。

「あrikata検討会議」からは、将来の会員の減少予測データ、並びに小規模支部活動の継続手段や今後の全道大会の運営など6項目について、意見聴取の投げかけがあり、各支部の今後の会議等の話題において、それぞれの支部事情に照らした提案がなされるものと思います。

懇親会に移行してからは、議案で取上げたいネタがポンポンと飛び出し、やはり建築士会では、懇親会まで含めて「会議」と言うことを再認識し、夜の帳（とぼり）がすっかり下りた頃に閉会しました。

これからも共有できる活動を を広げよう

道北ブロック会

統括理事 中澤 光夫（旭川支部）



初冬の季節（11月6日）、道北8支部の代表者が集合し、第2回道北ブロック会議を道士会高野会長を迎えて、旭川で開催しました。議題内容については、①胆振東部地震について②北海道建築士会のありかたについて③全国大会北海道大会について④ブロックにおける課題について等々、各支部の代表者から忌憚のない色々な意見が出されました。まず、①は、道北ブロックは比較的地震が少ないとされてますが、いつ何時起こるかわからないので日頃から心構えをすることが重要であることの認識、②または④については、道士会本部のあrikata検討会議の意見拝聴に示されている内容に、全支部が共通認識で一致したところでした。会員が減少していく中、少人数の会員でも対応できるよう、各支部におけるマンネリ化事業等も含め、目玉となる事業活動を再検討の課題として意見が出されたところでもあります。また、③の全国大会函館大会は、北海道の最北端の宗谷支部から最南端の函館支部まで約600キロの交通手段の移動距離を考えると…との話もある中、観光ではなく道北ブロックには見られない道南の歴史的建造物と近代的な建築物が融合する函館の街並みを体験する視点で…、各支部会員に積極的に参加するようアピールしたところです。「道北ブロックの全会員が一堂に集まり、共有できる活動を一度開催したいものです。」

会議を終えて考えたこと 「地域に見える建築士会に」

道南ブロック会

統括理事 山内 一男（函館支部）



平成30年10月13日、室蘭にて第2回道南ブロック会議が開催された。高野会長より、全道大会士別大会開催協力のお礼を述べられ会議が開始した。

胆振東部地震の事務局被害報告と、この地震によって被災建物応急判定の対応や今後の各支部と本部の連絡体制確立、罹災証明等の勉強会や研究する段階に来たと考えられる。又、函館支部は函館市と応急危険度判定活動連携協定に向けて協議に入ったと、報告された。士会と自治体との連携協力が広がって行く事によって、建築士の役割が地域に見えるのではないだろうか。各支部の取組をお願いしたい。

今後の北海道建築士会のありかたについて、各支部での議論をお願いし、本部に意見書の提出して欲しい旨が伝えられた。基本は地域で建築士が必要である姿を見せる事が大切だと、見えることによって建築士の励みとなり、入会の機会に繋がるはずだと。

建築士会全国大会北海道大会・函館開催を建築士と地域を繋ぐ絶好の機会だと考える。住民・市民に地域貢献の建築士の取組を是非紹介したいと考え、一般の人たちに記念講演や大会展示を見てもらう工夫が必要な気がしている。実行委員会、拡大支部委員会での協議事項がまだ残っており、2月までに大筋のスケジュール決定に取組んでいる。

第2回ブロック会議において

道東ブロック会

統括理事 庵 敏幸（北見支部）



平成30年第2回ブロック会議は道内最東端の根室市にて敷浪支部長のご協力にて開催しました。開催にあたり高野会長より9月に発生した胆振東部地震について建築士である我々が何ができるのか改めて認識をしたところであります。来年の全国大会北海道大会にはより多くの会員の方が参加できるよう、各支部の課題である会員減少の中で限られた予算の中でのやりくりが必要となります。会員増強について各支部の現在の運営状況や問題点などありましたが、道東ブロックでは支部事業となる講習会等を開催したくても参加できる人員も少なく、会費の増額や賛助会員を増やすといった意見があり、まずは建築士になるための担い手が必要という結論になりました。高野会長より担い手を増やすために日本建築士連合会が受験資格基準の見直しに関する建築士法の改正を国に求めているとの報告がありました。

ブロック会の後半では各支部長が高野会長と直接的に十分な意見交換ができ、各支部からの生の声が多々ありましたが、すぐに解決できない規約上の問題があるのでご理解いただければとのことでありました。

今回は紋別会場と決定し、各支部との親睦が深まる夜へととなりました。

青年委員会

お仕事体験 in 紋別！

紋別支部青年委員

新谷 一郎 (紋別支部)



紋別支部では2018年11月10日(土)に紋別市の児童館を借りて、将来の建築士を担うであろう子供たちに向け、建築士の魅力を知ってもらおうと「建築のお仕事体験in紋別」を開催しました。

本イベントは今年で2回目となり、前回にも増して大勢の皆様のご参加をいただきました。体験内容として、「ブロックでまちなみをつくってみよう」、「おりがみでたてものをつくってみよう」、「パズルでお部屋をかんがえよう」、「ストローで構造をかんがえよう」、の4つのお仕事体験と、「紙で人を支えられるのか」のワークショップを行いました。各お仕事体験に参加した子どもたちには、お給料として会場内に設置している駄菓子屋で使用できるイベント通貨「チーク」を手渡し、お仕事の達成感を体験してもらいました。また、お仕事体験を1つ終了するごとにスタンプを押し、5つのスタンプを集めた子供には、記念として「こども建築士免許証明書」の発行を行いました。



駄菓子屋さん

体験の中でも、「ブロックでまちなみをつくってみよう」は終始人気で、子供たちが絶えることが無く、次々と新しい建物が建築されていました。子供たちの作る建物はどれも細かい設定があり、その中でデザインを重視したもの、実用性を重視したものなど個性的な建物が多数完成しました。完成した建物は、まちなみステージに自由に配置してもらい、最後には子供たちで作り上げたすてきな「まちなみ」ができました。

今回、新たに行った「ストローで構造を考えよう」では、ストローを柱、梁にみたくて、建物の構造がどのように成り立っているか、感じてもらいました。始めは難しそうなお顔をしていた子供も、少し教えて



ストローで構造をかんがえよう

あげると、だんだんと夢中になって取り組み、思い思いの作品を作ってくれました。中には、親子で真剣に取り組んでいる様子も見られました。

想定していたより多くの子供たちでにぎわい、体験用の物品が不足してしまう等の反省点はありましたが、無事にイベントを終えることが出来ました。今回のイベントを通して、建築士会の活動、建築士の魅力を広く周知できたと思っています。当日は、休憩がとれないほど大変ではありましたが、子供たちの楽しそうな顔が見られてとても有意義な一日となりました。



お仕事体験風景



こども建築士免許証明書の発行

十勝支部

真夏の夜のビールパーティー

常務理事

後藤田直樹



諸般の事情により長らく中断していた支部のビールパーティーが昨年夏に復活した。

復活に先立っては様々な懸念が予測されていたが、高齢化の恩恵とでも言うべきなのか幸いにも中断前の重鎮が数名在籍しており、約1ヶ月と言う短い準備期間ではあったがコトはスムーズに進行していった。

まさしく「匠の技」もしくは「昔取った杵柄」とはこのことを言う

のであらうと確信した。

こうして昨年7月27日夏の夜に相応しい天候気温にも恵まれ、会員内外から約190名の参加を頂き盛大に開催することができた。

80・90年代のPOPSの大音量の中、名物の大抽選会も盛大に盛り上がった。

溢れんばかりの老若男女にヤキモキしたが、急遽別室を開放してくれた会場側の配慮にもこの場を借りて感謝を申し上げたい。

実は、本番の準備期間は約1ヶ月と言う短い期間ではあったが、復活の話は数年前から持ち上がっていたことであった。

会員減少に伴う資金源なのか、会員相互の親睦なのか、はたまた一般市民へのアピールなのか。

趣旨目的には賛否両論があったが、結果的にはどれをも満足する支部行事となったことであろう。

ぜひ継続を願いたい。



ビールパーティー

名寄支部

新年を迎えて

支部長

遠藤 光博



新年明けましておめでとうございます。旧年中は本部の皆様、全道各支部の会員の皆様には大変お世話になりました。平成最終年である昨年は、全国的に災害多発年であり、9月にはこの北海道におきましても、胆振東部地震が発生し、多くの道民の方と会員の皆様にも多大なる被害がありました事に、改めてお見舞い申し上げる次

第です。

当支部管内は災害被害そのものに縁遠いと考えている住民が多いと感じておりますが、近年は水害についての防災意識は高まってきております。しかし、今回のような地震発生による、これまでは聞きなれないブラックアウトが地域一帯を襲い、直接建築物への被害は無かったとはいえ、支部会員一同に建築士としてすべての災害へ向き合う防災意識と取り組みの必要性を痛感した次第です。

本年からは、支部活動の一環と

して、住宅等の耐震化促進に関する施策を各自治体にて実施されておりますが、道北における住民意識が低い等の理由から、施策の実施が進まない状況であります。

一支部で推進に向けた取り組みには限界がありますが、会員と地域の住民に対しての耐震化に向けた意識高揚を図る活動は可能と考えますので、今年の支部総会にて提案したいと考えております。

本年こそは平穏な年であることを祈りつつ、新年のご挨拶といたします。

次代を担うアスファルト防水

無釜型アスファルト防水熱工法 バンクス BANKS工法

(一財) 日本建築センターの建設技術審査証明書 (建築技術) (BCJ-審査証明-175) 取得



- 公共建築工事標準仕様 A(I)-1、D(I)-1と同等以上の性能確保
- 基準耐用年数25年(露出仕様)
- 高耐久・長寿命化によるランニングコスト低減
- 臭い・煙の少ない本格派アスファルト防水
- 専用転圧工具による下地接着性の確保
- 易溶解性アスファルト使用による安定した冬季施工性
- 飛び火認定 高断熱仕様(t=225まで)の対応 (DR-1887-2)
- 各種防水下地に対応可能



バンクス
BANKS工法 30秒動画

東西アスファルト事業協同組合

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6 三井生命札幌大通ビル3階 田島ルーフィング(株)内

Tel 011-221-4014 Fax 011-222-3627

技術協力メーカー： TAJIMA 田島ルーフィング株式会社

初開催！北海道建築士会による被災建築物応急危険度判定 コーディネーター研修会



被災地応急支援委員会 西田 康人（札幌支部）

大規模災害発生時に、二次災害を防ぐ目的で、被災建築物を応急に調査する「応急危険度判定士」。その判定士の連絡調整役である「コーディネーター」研修会を11月17日、大五ビル会議室にて北海道建築士会として初開催しました。

講師は小町委員長。災害対策本部役を土田委員が務め、その他参加者は委員を含め8名です。



コーディネーター研修会の様子

実際に作業が始まりますと、液状化想定地域、津波浸水想定地域などを見ながら実施本部、判定拠点施設を設定します。その後、災害の状況が開示され、鉄道国道の寸断、ライフ

ライン事故、火災などの情報が続出し、地図にマークしていきます。

開示されていない情報や疑問点は災害対策本部と連絡票でやり取りしながら解決してゆき、最終的に応急危険度判定士の人数と工程を設定する段階へと進みます。

初めての事柄に戸惑いながらも、和やかな雰囲気ですべて話し合い、速やかに進行、無事終了しました。

「応急危険度判定士」は平成30年度より認定要件に特定建築物調査員と建築施工管理技士が追加されました。また、当委員会主催の認定講習会受講により資格取得、更新が出来る様になっています。緊急時の備えとして講習会に参加されてみてはいかがでしょうか。

応急危険度判定士認定講習会ページ

<https://h-ab.com/session/oukyu.html>



建築士による住教育出張講座



女性委員会住教育運営担当 後藤 朋恵（札幌支部）

インテリアプラン作成講座建築士向けセミナーを11月24日（土）13：00～16：00 大五ビル2F会議室（札幌市）で開催いたしました。

参加者6名のうち2名は旭川から、1名は非会員の方に参加いただきました。

3時間の時間をいっぱい使って、インテリアプランボードを作成し最後はプランボードを手にとりそれぞれのイメージを発表。皆さん、プロだけにレベルの高い作品がそろいました。



（公社）日本建築士会連合会 各種委員会委員名簿（平成30・31年度）

委員会名	支部名	委員氏名
総務・企画委員会	札幌	鈴木 基 伸
法制度本委員会	札幌	牛 田 健 一
教育・事業本委員会	札幌	西 岡 誠
まちづくり委員会	札幌	針ヶ谷 拓 己
青年委員会	函館	末 吉 勇 介
女性委員会	小樽 札幌	本 間 恵 美 新 海 直 美
CPD/専攻建築士 制度委員会	札幌 札幌	久 島 正 嗣 菊 地 義 紀

（一社）北海道建築士会 2019 年間行事予定

1月	11日～31日 第52回建築基準法講習会 26日 二級・木造建築士免許交付式
2月	1日～27日 第52回建築基準法講習会 23日 一級建築士免許交付式
3月	11日 第1回理事会 22日 定時総会 30日 全道青年委員会連絡会議
4月	予定 二級木造建築士試験受付
5月	予定 一級建築士試験受付 17日 第2回理事会 18日 青年建築士の集い
6月	1日 支部長・支部事務局長合同会議 予定 青年委員会「建築士のお仕事体験イベント」
7月	予定 二級建築士学科試験 予定 一級木造建築士学科試験
8月	予定 二級建築士学科試験合格者発表 30日 第3回理事会
9月	予定 一級木造建築士学科試験合格者発表 予定 二級建築士設計製図試験 21日 全国大会（函館大会）
10月	予定 一級木造建築士設計製図試験
12月	予定 建築士試験設計製図試験合格者発表 13日 第4回理事会

会誌「北海道建築士」「建築士」到着日の変更について

みなさまへは、毎月1日着で会誌発送作業を進めておりましたが宅配便会社の取扱変更に伴いお届けが**毎月1日～4日着**となります。ご了承下さいますようお願いいたします。

CPD認定プログラム(12月認定)

◆実務に役立つ建築法規解説「第52回建築基準法講習会」

〈日程及び会場〉 1月11日(金) 10:30~16:00
北海道第二水産ビル(札幌市) 他18会場
〈単位数〉 4単位

講習会のご案内(1月開催)

※2月以降日程については本会ホームページで確認ください

建築基準法講習会

11日(金) 札幌市 24日(木) 旭川市 25日(金) 新ひだか町
30日(水) 滝川市 31日(木) 帯広市

監理技術者講習

17日(木) 函館市 30日(水) 札幌市

応急危険度判定士認定講習会

15日(火) 倶知安町 23日(水) 釧路市 24日(木) 江差町

建築士による住教育出張講座

北海道標茶高等学校 30日(水)

平成31年 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしていませんか。応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し9月発刊「北海道建築士No.265」に掲載します。多くの会員の応募をお待ちしています。

※応募要項など詳細は、3月発刊「北海道建築士No.259」に掲載。また北海道建築士会HP(<http://www.h-ab.com/>)では、第1回～6回の作品も見ることができます。

編集後記

災害の多かった昨年、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

今年は9月21日に函館で建築士会全国大会が開催されます。会誌「北海道建築士」でも、大会案内・大会直前・大会報告と3回の特集記事を予定しております。大会開催に関する情報をお届けしますので、多くの道土会会員の皆様に参加いただき、北海道建築士会が一丸となって全国大会を盛り上げたいと思います。 常務理事 牛田 健一

道土会の動き

道本部の主な行事予定(1月)

7日(月) 全国大会実行委員会在札等委員会議
12日(土) 第1回青年委員会
17日(木) 住教育特別委員会
21日(月) 第1回ありかた検討会議
26日(土) 二級・木造建築士免許交付式

道本部の主な会議報告(12月)

◆第3回情報委員会

〈開催日〉12月1日(土)
〈議題〉 1) 平成31年予算及び事業計画
2) 会誌「北海道建築士」
3) ホームページ

◆第5回ありかた検討会議

〈開催日〉12月3日(月)
〈議題〉 1) 北海道建築士会の今後のあるべき姿を考える

◆第5回理事会

〈開催日〉12月7日(金)
〈議題〉 ※議題はすべて承認済
1) 平成30年一般会計収支予算の流用(案)
2) 平成30年一般会計事業報告(10月末)及び収支決算見込
3) 平成30年特別会計事業報告(10月末)及び収支決算見込
4) 平成30年全国大会特別会計事業報告(10月末)及び補正並びに収支状況
5) 第43回全道大会(士別大会)事業報告及び収支決算(案)
6) 第44回全道大会(網走大会)の日程等(案)
7) 支部財政調整積立金の取崩(案)
8) (一社)北海道建築士会事務局職員就業規則の改定(案)
9) (一社)北海道建築士会有期契約職員等就業規則の制定(案)
10) 平成31年一般会計事業計画及び収支予算(案)
11) 平成31年特別会計事業計画及び収支予算(案)
12) 平成31年全国大会特別会計事業計画及び収支予算(案)
13) 建築CPD制度参加登録申込書の変更(案)
14) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員/熊谷 智・柏倉 晶憲
村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.257号

印刷 平成30年12月/発行 平成31年1月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番